

授業科目	教育学	2 学年・前期・2 単位 (30 時間)	
		全学科	選択

科目担当責任者	高橋義信 (教育研究棟 IC809 号) e-mail : yoshi@sapmed.ac.jp	非常勤講師 連絡担当教員	
担当教員	(太田眞)		
概要	現代日本の教育の特質や課題を、学生自身が受けてきた教育経験を基礎にして考察する。さらに、現代日本の教育の現状と課題を外国の事例と比較しながら考える。教育と経済格差問題、教育裁判と教育法、養護教諭の位置づけ、中国・韓国の歴史教育なども取り上げる。また教える立場に着いた際に求められる基本的な教育学的知識の習得を目指す。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 現代日本の教育の特質や課題を自分の教育経験を基礎に説明できる。 2. 他国・地域と比較した場合の日本の教育の特徴を説明できる。 3. いじめ等問題行動の理解と児童生徒への対応について説明できる。 4. 現代日本における教育問題の原因やその解決策について自分なりの意見を表明できる。 		
関連科目	心理学概論、人間発達学 1		
評価	評価対象	評価割合(%)	備考
	提出物	50%	
	レポート	50%	
教科書	指定なし		
参考書	<ol style="list-style-type: none"> ①佐藤環編 [2013 年] 「日本の教育史」 あいり出版 ②佐々木正治編 [2010 年] 「新中等教育原理」 福村出版 ③藤田英典ほか [1997 年] 「教育学入門」 岩波書店 ④藤田英典 [2006 年] 「教育改革のゆくえー格差社会か共生社会か」 岩波書店 		
履修上の留意点	各教員のそれぞれの授業の 3 分の 2 以上出席すること		

実施回	内 容	事前・事後課題	形態	担当教員
1	中等教育を考えるー連携型中高一貫教育を通してー	事後：資料を精読する。	講義	(太田)
2	国の教育施策と学習指導要領の変遷	〃	〃	〃
3	次期学習指導要領と求められる資質・能力	〃	〃	〃
4	教育法規と教員の服務	〃	〃	〃
5	北海道の「学力・体力」の現状と課題への対応	〃	〃	〃
6	生徒指導上の個別の課題(1)暴力行為と出席停止制度	〃	〃	〃
7	〃 (2)いじめ問題とその対応	〃	〃	〃
8	〃 (3)不登校と中退	〃	〃	〃

9	教育課題と教師(4) 貧困、福祉と教育	〃	〃	〃
10	開かれた学校づくり-学校評議員制度とコミュニティ・スクール	〃	〃	〃
11	教育に関してどのようなことが裁判で争われてきたか。いじめと学校事故を中心に。	〃	〃	高橋
12	教育に関してどのようなことが裁判で争われてきたか。奨学金の返還や部活動経費の返還など経済問題を中心に。	〃	〃	〃
13	高学歴だとなぜ給料が高いのか？日本の教育費は他の国と比べると高いのか。教育費はだれが負担すべきか。	〃	〃	〃
14	教育に関する実験的研究。教育は実験的研究があまり行われていない分野であるが、これまでにどのような研究が行われ、何を見出したのかを紹介する。	〃	〃	〃
15	中国と韓国は過去の日本との関係をどのように教えているのか。その特徴は何か。	〃	〃	〃